

令和4年度第4回浜松市地域公共交通会議

議事録

1 開催日時 令和4年11月1日（火） 午後1時30分から午後3時00分まで

2 開催場所 浜松市役所 本館8階 全員協議会室

3 出席状況 会長

松本 幸正（名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科）

副会長

井熊 久人（浜松市都市整備部長）

委員

平野 隆広（静岡県交通基盤部都市局地域交通課長）

代理 松林 花奈

諸井 宏司（遠州鉄道株式会社運輸事業部長）

伊藤 尚吾（浜松市タクシー協会会長）

堀内 哲郎（一般社団法人静岡県バス協会専務理事）

杉山 きよ子（浜松いきいきネットワーク代表）

佐藤 元久（北区自治会連合会長）

大見 芳（天竜区自治会連合会長、特定非営利活動法人がんばら
まいか佐久間理事長）

原田 光一郎（中部運輸局静岡運輸支局首席運輸企画専門官）

田中 友親（遠州鉄道労働組合副執行委員長）

伏木 章尋（浜松市土木部長）

三室 雅仁（浜松東警察署規制係長）

加藤 篤（浜松西警察署規制係長）

伊藤 康志（浜北警察署規制係長）

武田 道成（天竜警察署規制係長）

事務局

刑部 晶彦（交通政策課長）

竹村 雅彦（交通政策課長補佐）

中川 政行（交通政策課総務調整グループ長）

牧野 嘉文（交通政策課総務調整グループ）

山本 芳大（交通政策課総務調整グループ）

中井 真澄 (北区まちづくり推進課長)
江間 真一 (北区まちづくり推進課環境交通グループ長)
鳥居 秀嗣 (北区まちづくり推進課環境交通グループ)
高井 伸浩 (浜北区まちづくり推進課長)
宮木 隆之 (浜北区まちづくり推進課環境交通グループ長)
緒續 周弘 (浜北区まちづくり推進課環境交通グループ)
森田 修 (天竜区まちづくり推進課長)
市川 義之 (天竜区まちづくり推進課長補佐)
齋藤 慎悟 (天竜区まちづくり推進課計画交通グループ長)
古川 成規 (天竜区まちづくり推進課計画交通グループ)
原 伸明 (天竜区まちづくり推進課計画交通グループ)

4 傍 聴 者 5人

5 議 事 内 容

〔報告事項〕

(1) 報告事項

- ①三ヶ日地域バス「オレンジふれあいバス」運行時刻変更及びバス停移設について
- ②浜北地域バス「北浜亀玉線」運行時刻変更について
- ③浜松市自主運行バス「北遠本線」の運行について

6 会議録作成者 交通政策課総務調整グループ 牧野 嘉文

7 記録の方法 発言者の要旨記録

8 要 旨

1 開会

- ・本日の出席は全委員 22 人中 16 人の出席であり、要綱第 9 条第 2 項の規定により過半数を満たしているため、本会議が成立することを報告。
(出席者 16 人中 代理出席 1 人、欠席 6 人)

2 議事

〔報告事項〕

【浜松バス】

- ・三ヶ日、浜北両地域バスで運行時刻の変更を実施した。告示により運転者に 4 時間以上の連続運転を禁止されている。両地域バスの運行計画では法令適用されているが、実際の運行は状況によって違反となりやすく、運輸局立入監査で危うい状況である旨口頭で注意があった。運転手がバスを運転しない時間を法令通り確保できるよう調整した。
- ・浜北地域バスは便と便の間隔が 12～13 分であった。告示では 30 分以上の休憩を以

って連続運転を中断したことになる。休憩時間は分割取得が可能だが、10分未満は休憩とみなされない。始発時間を早め、休憩時間を調整する、終着時間を遅くして対応した。

- ・三ヶ日地域バスも同様の状況であり、小学生が登下校で利用するため、時刻に変更を加えないよう、その他も大幅に発車時間を変更しないよう、調整を図り休憩時間を確保をした。
- ・予め静岡運輸支局へ相談し、10月1日より実施し、事後の届出をした。

①三ヶ日地域バス「オレンジふれあいバス」運行時刻変更及びバス停移設について

【北区まちづくり推進課】

- ・10月1日時刻変更について、浜松バスからの説明のとおり
- ・三ヶ日西小学校生徒の登下校で利用する便は1便、5便、7便、8便であり、これらは利用に影響が無いよう調整した。
- ・地域から三ヶ日中央外科バス停について要望があり、バス停位置を変更した。

●質疑応答（要旨）

【松本会長】

- ・軽微な変更のため、事後報告となった。
- ・労働環境の確保について通達で求められているのか。

【原田委員】

- ・ダイヤ上は休憩時間の確保は図られているが、休憩時間が取れないと違反になるので見直していただいた。

②浜北地域バス「北浜亀玉線」運行時刻変更について

【浜北区まちづくり推進課】

- ・10月1日からの北浜亀玉線時刻変更について、浜松バスからの説明のとおり

●質疑応答（要旨）

【松本会長】

- ・鉄道との接続で調整したのか。

【浜北区まちづくり推進課】

- ・調整した。

③浜松市自主運行バス「北遠本線」の運行について

【天竜区まちづくり推進課】

- ・北遠本線についてはご迷惑をお掛けした。
- ・9月6日地域公共交通会議書面協議において、北遠本線における運行事業者の変更承認の撤回について合意。
- ・今後の対応として、準備期間を6ヵ月とした。入札は3月に実施。
- ・安全運行対策は天気・天候の確認頻度を記載。また収集した情報の共有を記載。

●質疑応答（要旨）

【松本会長】

- ・経緯について、詳しく説明してほしい。

【天竜区まちづくり推進課】

- ・書面決議の経緯は北遠本線を落札したニュー浜名湖バスの路線新設を撤回、水窪タクシーの路線退出の承認を受けたが、ニュー浜名湖バスが一般旅客の事業認定を受けていなかった。
- ・8月中旬時点で10月からの運行が見通せなくなり、ニュー浜名湖バスと協議の上、合意解除、水窪タクシーと契約した。

●質疑応答（要旨）

【大見委員】

- ・協議会として反省すべき所がある。今後の対応で準備期間の拡大とあるが、選定について再考してほしい。価格が安い方が良いというのは理解できるが、地域の公共交通を担う責務があり、地域住民の安全性利便性を考慮した際に、入札による価格の引き下げを助長してはならない。今後の選考について地域の実情を鑑みてほしい。

【交通政策課】

- ・各政令市へ入札方法の照会をしたが、総合評価やプロポーザルで実施している市は無い。WTO 案件は全体の調達方針に関わることであるが、周りの動向を見ながら調査研究をしていきたい。

【大見委員】

- ・他市の例がないとのことだが、先例を切ってやっていくが大事。
- ・綱渡りので住民への迷惑が掛からず済んだが、抜本的な方向転換も必要。

【松本会長】

- ・前倒ししているので、免許が取らなくても再入札が可能なのか。

【交通政策課】

- ・再入札が可能。

【松本会長】

- ・再入札が可能であれば、今回のような事態は防げる。
- ・入札方法については理解できるが、それなりの金額を掛けないと安全確保ができないと思うので、価格のみの競争は避けてほしい。
- ・水窪タクシーが随意契約を受けてくれたので、交通の確保ができたが、断られたら移動手段が無くなった。ある交通事業者の維持ではなく、地域の交通手段の確保・維持を公共として守っていかなければいけない。

【諸井委員】

- ・この案件が出た際に、バス事業者としては総合評価方式が望ましい。
- ・事故は、仕様書を満たしているから安全では無く、運行している中で起こる。
- ・運転手不足について、国土交通省から運転手の処遇改善について指摘があり、価格競争だと改善がされない。

【松本会長】

- ・低入札防止はしているのか。

【交通政策課】

- ・この事業については実施していない。

【堀内委員】

- ・安全コストはかかるもの。運賃には安全が加味されている。それらを踏まえると、一般競争入札で安全が担保できるかが重要。安全を確保できないことが想定されるなら排除できる規定が必要。他のコミュニティバスにおいても、同様の事案が発生するので、仕様書の変更が必要。浜松市では乗合免許を持たない事業者にも門戸を開いてもらっているが、新たに許可を取るとなると時間がかかる。

【交通政策課】

- ・市全体でも見直す必要があると考えている。

【松本会長】

- ・ある市では人間ドックを年2回受診させたり、接遇資格を取らせていて、お金がかかっていると感じたので、認識を持ってほしい。

【伊藤委員】

- ・水窪タクシーは事業規模が小さいが、佐久間・水窪地域では貴重な存在であり、入札制度について配慮願いたい。

【松本会長】

- ・事業者同士の競争で品質の高いものをより安く、ということだったが、事業者同士の競争でなく、マーケットの競争。

【佐藤委員】

- ・最低制限価格について品確法に基づいているが、委託では無かったと思う。一般競争入札より総合評価やプロポーザルが良いと思うが、総合評価は金額と点数で決まってしまうので、委員の話し合いで経験など加味して決める方法を模索してほしい。

【松本会長】

- ・品確法は最近の改正で委託業務も可能となっている。

【杉山委員】

- ・山間地で運転をしていて細い道路など心配して走ることがある。安全と便利を保証して運転するのは大変だと思う。地域を熟知している人が運転するのが良いと思った。慣れているから安全ではないが、地域の人が安全の生活を送れるよう努力してほしい。

【松本会長】

- ・総合評価だと地域精通度で加点ができる。北遠本線でも運転手による複数回運行などの項目が増えたので、改善に繋がっている。

【田中委員】

- ・バスの乗務員不足について、採用活動はしているが、コロナ前と比較して150人ほど減っている。行政からの補助金を受けながら乗務員の確保が必要。

【松本会長】

- ・安全確保が必要であれば、委託とは別に補助金が必要。
- ・まとめとして、北遠本線の承認について、あの時点では承認いただくしか無かった。
- ・今回提案された内容を実施して、今後こういうことが無いようにしていただきたい。

3 閉会